

令和五年度 励ましのことば

本日、ここに晴れの日を迎えられた皆さん、御卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。思い出深い学び舎を巣立ち、大きな夢や希望をもって、新たな活躍の場に踏み出そうとされる皆さんの門出に当たり、励ましのことばを贈ります。

歌人俵万智さんの第六歌集『未来のサイズ』に、次の一首が収められています。

制服は未来のサイズ入学のどの子どもどの子ども未来着ている

入学時に着ていた子供の制服のゆとりから、心身ともにたくましく成長する未来への期待を感じるという歌です。高校生活を振り返って、勉強や資格取得、学校行事や部活動等、すべて思い通りだったという人はほんの一握りでしょう。期待した成果を得られず苦しんだとき、人間関係に悩んだとき、進路選択の岐路に立って迷ったとき、それらの困難に対し、仲間や先生方に励まされながら一つひとつ乗り越えることで自信をつけてきたと思います。とりわけ探究に取り組む中で、皆さんは自らの成長を実感するだけでなく、地域や社会からの期待も強く感じたのではないのでしょうか。

「自分は何をしたいのか」「自分にできることは何か」「自分が社会から求められていることは何か」。自己の在り方生き方との関わりから生まれた問題意識や未知の学問に対する知的好奇心から問いや課題を設定し、異なる視点をもつ多様な他者と協働しながら、ときには方向性を修正し解決を目指す。失敗を重ね、試行錯誤するたびに活動を振り返り、皆さんは、問いや課題を自分事として受け止め、自らの「好き」や「楽しい」という気持ちを徹底的に突き詰め、主体的に探究をすすめてきました。

探究を通じて皆さんが身に付けた主体性や多様な他者と協働する力、粘り強く取り組む力は、昨年十月に開催された、第三十三回全国産業教育フェア福井大会（さんフェア福井2023）でも大いに発揮されました。大会では「発掘せよ!! 産業人の原石、未来の輝石」をテーマに、地域産業を支える全国の高校生が集って日頃の学習成果を披露し、交流を深めました。中心となって活躍した生徒実行委員の皆さんには、開催まで多くの困難が立ちほだかったことと思います。

生徒実行委員会委員長が最終日の閉会宣言で述べたことばは、困難を乗り越えた達成感と自信に裏打ちされており、聞く私たちは、高校生の皆さんのたくましく成長した姿とともに、未来を切り拓く突破力も感じました。もちろん、大会に関わった生徒だけでなく、今、この場に立つ皆さん一人ひとりが、福井の未来の輝石としてますます大きく成長していくことでしょう。

今から約百年前、東京・敦賀間の直通列車開業を機に、東京からヨーロッパまでが一枚の切符でつながりました。当時の鉄道が人や経済、文化の交流に欠かせないインフラとなり、福井から世界へ多くの先人が志を抱いて旅立ったように、北陸新幹線福井・敦賀延伸と同時期に母校を巣立つ皆さんも、県内はもちろんのこと、県外、そして海外へと活躍の場を広げ、困難にも果敢に挑戦し、ふるさと福井の新たな姿を創り上げていくことを心から願ひ、応援しています。

結びに、校長先生をはじめとする教職員の皆様、同窓会や関係の皆様、そして地域の皆様による多大なる御支援に深く感謝を申し上げます。今日まで皆さんを限りない愛情で育て、支え続けてこられた御家族の皆様に敬意を表し、励ましのことばといたします。

令和六年三月吉日

福井県教育委員会